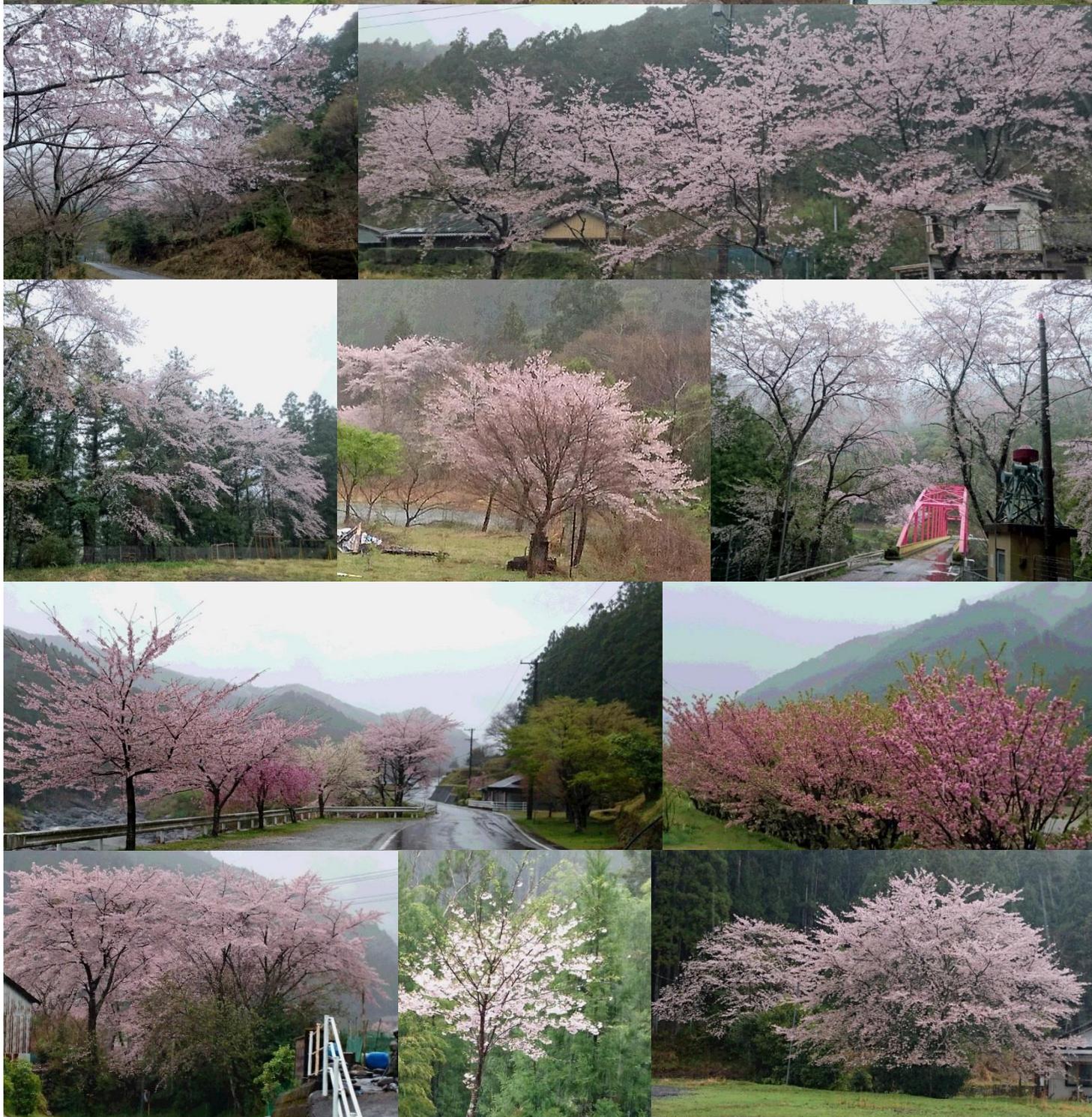


領内出張所だより

83



春爛漫

～はる、らんまん～

平成 29 年
(2017 年)

4月

奥伊勢消防署宮川出張所です！

春の火災予防運動週間に宮川中学校生徒を対象に防火教室を実施しました。

みなさんに「防火への意識」を習慣づけていただくために、日頃から広報活動に取り組んでいます。



生活のなかでの身近な火災予防の話をしました



実際にてんぷら油から火が出るところを見学してもらいました

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣 4つの対策

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対にやめる。
- ストープは燃えやすい物から離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す。

設置はお済みですか？

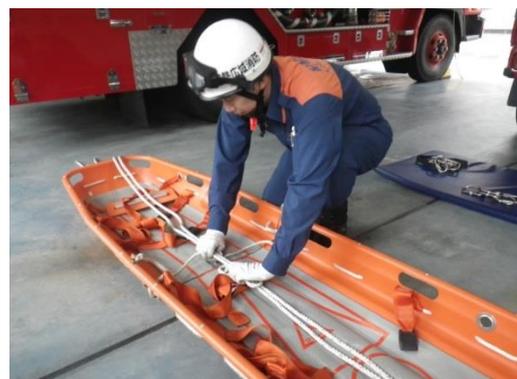


4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために隣近所の協力体制をつくる。

大杉谷登山道が今月21日に山開きになります

山岳事故の発生を想定して「ポイント地点の確認」や「担架作成・応急手当」など迅速に対応ができるよう日々訓練を実施しています。



国民の祝日と私たち

4月末から5月にかけてゴールデンウィークがやってきます。

旅行やレジャーにお出掛けされる方、田植え・茶摘みに忙しくされる方など、人それぞれ予定していることは違いますが、もうすぐ恒例の大型連休を迎えます。連日晴れ間が続くだろうとの情報が早くも出ていますが、いずれにしても天気予報から目が離せませんね。

以前のゴールデンウィークといえば「飛び石」連休だったりしたので一喜一憂することが多かったように記憶していますが、ハッピーマンデーの採用や国民の祝日の追加などによって最近では連休がより利用しやすくなったように感じます。

4月 29日 昭和の日

この日は「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす」とあります。

昭和時代の「天皇誕生日」に始まって、崩御後は一時的に「みどりの日」となり、現在の「昭和の日」になりました。

5月 3日 憲法記念の日

「日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する」日とあります。

現在使っている日本の憲法は5月3日（昭和22年：1947年）につくられました。ちなみにポーランドも同じ日（1791年5月3日成立）が記念日です。

5月 4日 みどりの日

「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ」日とあります。もともと4月29日だった「みどりの日」を、5月4日にもってくることによって連休が「飛び石」にならないように工夫されました。

5月 5日 こどもの日

「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日とあります。

この日は国民の祝日として「母の日」でもあるのです。実は毎年5月第2日曜日（今年は5月14日）の「母の日」は公式に決められたものではなく、母への感謝の気運が高まって世の中に認知された日なのです。

今年のゴールデンウィークは最長で9日間、メーカー企業では生産調整なども兼ねて2桁のところもあるそうです。あまりにも長すぎて連休など要らないと言われる方もいらっしゃるかも知れませんが、ゆったりと「思いをいたす」時間をとってみたい、周りへの「感謝」をちょっとだけ表してみるには長い連休、時間はたっぷり贅沢にありますね！

新年度にあたって 領内出張所長 木下良樹



領内出張所に赴任し2年目になります。最初の1年は戸惑うばかりの1年でした。各区長様、民生委員様方々に助けられながら、なんとか大過なくすごすことができました。

さて、平成29年度が始まりました。新年度から新たに職員として、明豆の松本幸輝君を迎えることができました。所長として、地元の方に着任していただくことは、特に災害時などで心強いところです

昔から災害は忘れた頃にとよく言われます。今年1年も気を引き締めて業務を遂行していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

絵手紙をはじめてみませんか

**毎月第1火曜日に
みんなで集まって
絵手紙を書いています。
出来た葉書きは
誕生日カードとして
領内地区の75歳以上の方に
届けています。**

29年5月の予定

**と き 5月9日(火)
ごぞ1時30分～3時
と ころ 領内地域総合センター**



都合により5月は第2火曜日です

あとがき

宮川流域ルネッサンス協議会の2年間の勤務で伊勢に通勤する車中、いろんなことを考えながら過ごしました。宮川に生まれ宮川で育ててもらった自身を見つめ直す良い機会でもありました。

伊勢との関わりや縁の強いこと、自動車が普及して生活圏が松阪に変わってしまったのも宮川が大切な役割を果たし続けていることを改めて学びました。

そして素晴らしいのは、宮川が多くの人々が暮らしているのに清流であり続けている川だということです。

この清らかな宮川が流れる領内で恩返しができるよう粉骨砕身頑張って参りますので、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。